

報道機関各位

内閣府 沖縄総合事務局
沖縄県 土木建築部 首里城復興課
(一財) 沖縄美ら島財団
沖縄県立芸術大学

首里城復元における技術継承・人材育成の連携協定を締結！

この度、首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定の締結式を行いますので、ご取材のほど宜しくお願い致します。

●日 時：令和4年11月22日（火）10:00～11:00

●内 容：首里城復元における技術継承・人材育成を進めるため、4機関（沖縄総合事務局・沖縄県・沖縄美ら島財団・沖縄県立芸術大学）による連携協定（別添参照）の締結式を行う。

※締結式では、協定の概要説明、各機関代表による署名及び挨拶を予定しています。

●場 所：首里城公園 首里杜館1階「情報展示室」

●時 間： 9:30 ～ 9:50 マスコミ受付
10:00 ～ 10:30 連携協定締結式
10:30 ～ 11:00 質疑対応

【ご協力をお願い】

○新型コロナ感染拡大防止を図るため以下についてご協力ください。

- ・報道機関各社からの参加人数は最小限でお願いします。
- ・咳エチケット、マスク着用のご協力をお願いします。
- ・発熱症状及び風邪症状のある方は、ご参加を控えるようお願いします。
- ・今後の新型コロナウイルスの感染の状況等により変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

＜お問い合わせ＞沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課

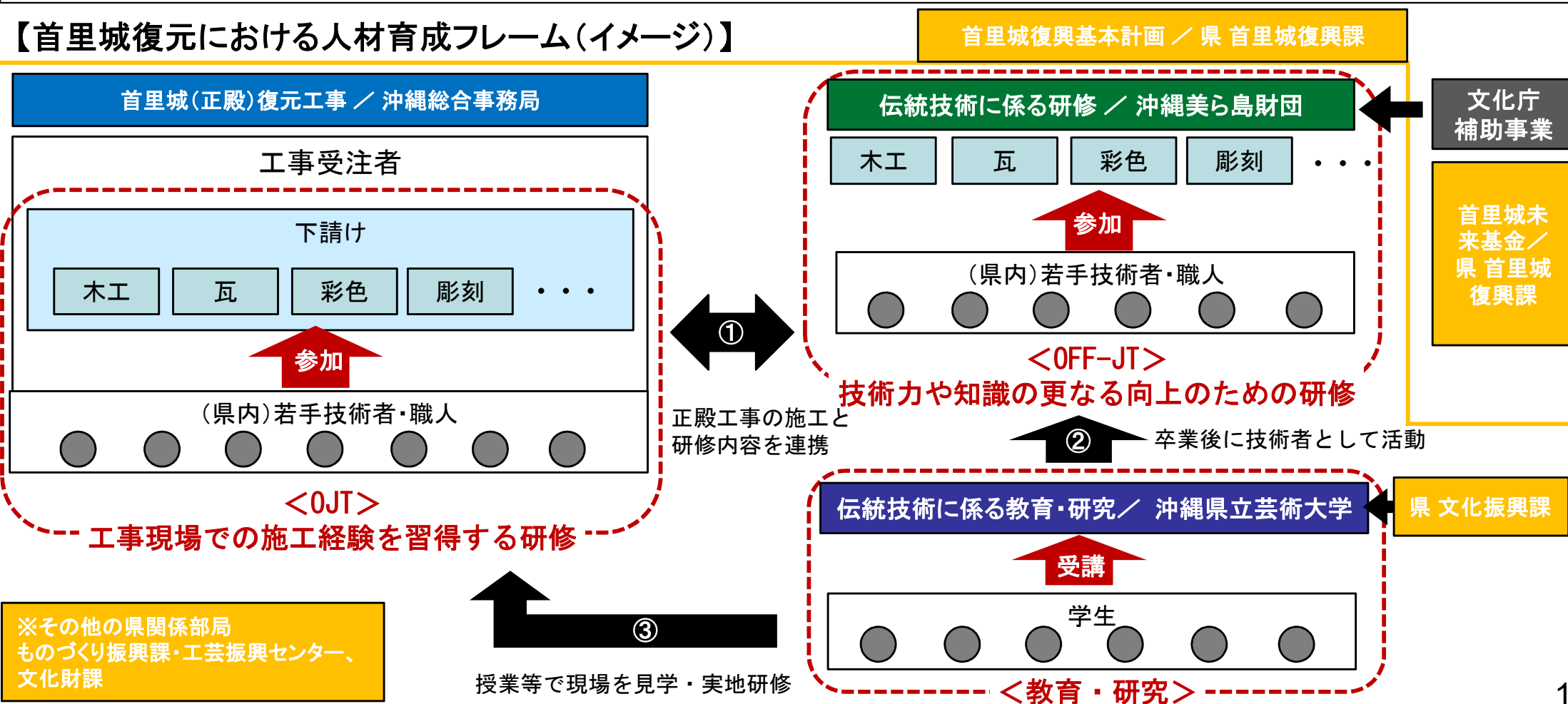
TEL 098-866-1910（直通） 担当：伊佐

首里城復元における技術継承・人材育成について

- 現在、国の技術検討委員会において、今回の復元工事における技術者・職人の確保について検討するとともに、北殿・南殿等の復元やその後の首里城全体の補修等も見据えた中長期的な人材育成について検討を進めている。
- 沖縄県においても「首里城復興基本計画」(R3年3月)に基づき「伝統技術の活用と継承」(基本施策5)を目指すとともに、令和4年度から新たに「首里城未来基金」を設置し、伝統建築や美術工芸における技術の継承や人材の育成が目指されている。

沖縄総合事務局・沖縄県が連携して、沖縄美ら島財団や沖縄県立芸術大学等の関係機関の協力のもと、首里城復元事業をモデルケースとした人材育成の仕組み構築を目指す。

【首里城復元における人材育成フレーム(イメージ)】



首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定について

令和元年10月31日の首里城での火災を受けて進められている首里城復元について、令和8年の完成を目指す正殿やその後に予定されている北殿・南殿等の焼失建物の復元、さらに復元後の補修や解体修理において必要となる伝統技術を継承すべく、持続可能なかたちで技術者・職人の人材育成を進めるため、首里城復元に関係する機関で連携協定を締結する。

【連携協定の概要】

○協定締結機関

機関名	主な役割	事務局
内閣府 沖縄総合事務局	国営公園事業として首里城の復元(補修等を含む)を実施。	国営沖縄記念公園事務所
沖縄県	首里城復元に係る基金(首里城復興基金、首里城未来基金)の運用、首里城復興基本計画に基づく人材育成に係る取組みを実施。	土木建築部 首里城復興課
沖縄美ら島財団	首里城復元に係る伝統技術等の研究や研修等を実施。	琉球文化研究室
沖縄県立芸術大学	首里城復元に資する伝統技術等に係る教育・研究を実施。	総務課

○協定の目的

令和8年の完成を目指す正殿やその後に予定されている北殿・南殿等の焼失建物の復元、さらに復元後の保存修復等に必要な伝統技術を継承すべく、持続可能なかたちで復元・保存修復等の技術を有する人材の育成を進めるため、首里城復元に関係する機関の円滑な連携を目指すこととする。

○主な協定内容

- ・ 連携協定の目的
- ・ 各機関間の連携（OJT/OFF-JT研修のカリキュラム調整、研修生のマッチング等を想定）
- ・ 連携等に必要となる会議の開催（関係機関での連携調整会議等を想定）